

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

一年間を振り返って

会長 松本 啓



経ってしまえば一年間ってあっという間だったなと思いつつ一年間のハンサムを読み返してみると、なにがなにが、非常に沢山の出来事が思いおこされ、目に浮かんでまいります。

7月総会の席上「INNOVATION—自己変革」を年間テーマに掲げ「一年間青年中央会にどっぷりとつかりたい」と見栄をきったものの、内心は本当にやっていけるのかと不安いっぱいスタートでありました。物理的にも精神的にも自分自身のかなりの部分を青年中央会に費やしてきたつもりではありましたがどうしてもスケジュールを後追いついていくという形になり、「INNOVATION」とは程遠い会の運営になったことは反省しています。

しかしながら、自分自身にとってはいろいろな面で得難い貴重な体験をさせて頂いた一年間であり心から感謝しておりますし、一年間の青年中央会活動の中で会員一人一人がひとつでも得るものがあつたら、それは

それで意義のある一年であつたということなのだろうと勝手に納得したりもしている今日この頃です。

副会長を二年連続で務めさせて頂き、引き続きの会長職でこの三年間は非常に密度の濃い青年中央会生活を送らせてもらいました。その中で強く感じる事はせつかく青年中央会に入会していながら自ら自己研鑽と友好の場を放棄してしまっている会員が以外に多いということです。例会での講師先生のお話の中には我々にとって得るものがたくさんあるはずですし、委員会は会員同士が膝をつき合わせて異業種交流のできる格好の場なのです。そういう意味で121名の出席を得た6月例会は私にとって非常に思いで深いものとなりました。次年度は小原新会長のもと会員一人一人が「自己責任」を追求され、積極的な活動の中から実り多い一年にして頂きたいと願って止みません。

各委員長の方皆さん一年間お疲れ様でした。一年間各々のテーマに一生懸命取り組み、それぞれ立派な成果を上げて頂きました。いろいろご苦労もあつたと思いますが、皆さんにとって貴重な体験になったことと確信しております。

最後に、このようなすばらしい機会を与えて下さいました阿部直前会長、私を支えて下さいました副会長はじめ役員の方皆様、暖かく見守って下さいましたOBの方皆様、なにかとお世話になった事務局の方々、そしてご協力頂きました会員一人一人に心から感謝申し上げます。

一年間本当に有難うございました。

山陰・夢みなと博覧会衛星生中継 進捗状況報告

高知県中小企業団体青年協議会 番組制作に合意

6月6日、松本会長以下赤石副会長、音田監事と共に高知県中小企業団体青年協議会を訪ねました。

会場場所のホテルには、高知側から野村会長以下6名の皆さんと、高知へ転勤された羽原氏も駆けつけていただきました。

両会長のご挨拶の後、細かい打ち合わせに入り商店街と旅館組合のチームのヨサコイの協力や、酒造組合の日本酒コーナーなど積極的に参加、ご協力頂く運びとなりました。

その後中継場所のロケハンとなり技術面での打ち合わせも進みました。

中継場所は帯屋町商店街中央公園付近、カメラを2台を

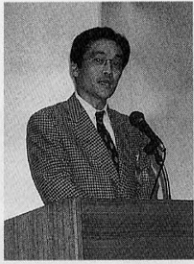


搭載したSNV車を配置し商店街のにぎわいを生で伝えます。

またその際、高知県庁へ橋本知事のご出演もお願いしてまいりました。

一方、6月19日にはこちら側も特別委員会の具体的な作業会議を行い各部所準備を進めております。

本番セッティングは前日の21時よりとなる模様で、かなりハードな本番を迎えることとなりそうですが、会員の皆様にはご協力の程よろしくお願いたします。



6月例会報告

6月16日米子国際ホテルにおいて、今期最後の例会で出席者が初めて100人を突破、松本会長の喜びの顔で挨拶が始まり、この1年間会員の皆さんの協力に感謝されるとともに、これからまだ皆生トライアスロン、夢みなと博覧会等イベントがあるので青年中央会の会員全員の協力を再度要請される。

つづいて総務委員会より1年間を通じて行われたボウリング大会の成績発表が行われ、会員だけでなく家族の参加も多数あり団体・個人・家族別の上位入賞者の表彰を行い成績はともあれ、日頃青年中央会の活動がなかなか家族に理解されていない会員（…私だけかも）も少しは家族の理解が得られたのでは？

また各委員会の活動報告がおこなわれ、各委員長最後の仕事でほっとされた雰囲気の様子で発表のほうも就任当時とは違い流暢に一年間の報告がおこなわれました。ある委員長さんは良い経験をさせてもらい、まだもう一年やりたいような方もいましたが役員の皆さんほんとうに一年間ご苦労様でした。

さてこんどは新年度の役員の面々が緊張の面もちで抱負を発

表、小原次年度会長また各新委員長の抱負と続きましたが、会長の方針のもと各委員長の方針が決まっていなかった方もあり、不安を抱えながらも力強く抱負を語られ、青年中央会をグイグイ引っ張っていってくださるよう期待します。

最後に皆生トライアスロンの宮廻、岩田エイドステーション担当者、景マラソン部長、畑中ボランティア部長より今年は「夢みなと博覧会」もあり人数が非常に不足しているので、会員の出席はもちろん会員の会社、友人等からでもボランティアに参加して欲しいと切実な依頼があった。

会員の皆さんは打ち上げ委員会等でお疲れの様子ですが、最後のひとふんばり皆さんのご協力よろしくお祈りします。



熱きメッセージ、お茶の間に 情報メディア委主幹の 中海TV収録終了

台風一過の6月29日、情報メディア委員会活動の締めくくりとして我が中央会の『年度活動報告』番組の収録が中海TVスタジオで行われた。

この番組は、地域の情報ネットワークを活用して中央会の紹介をおこなうものであり、谷口委員長を中心に委員会メンバーが英知と団結を持って実現した手作りの番組であった。午後2時、収録メンバーと出演者の三代の会長、副会長等が集合。「普段の地のままの中央会を見ていただくよう」を合い言葉にリハーサル開始。谷口総合プロデューサーの的確な指示のもと3時過ぎに本番開始のキューサインが入った。

番組は依孝太郎ばりの低音で落ち着いた口調の高岡会員の司会でスタート。松本会長挨拶、各副会長の委員会活動報告、小原次年度会長の抱負、そして締めくくりは阿部直前会長の二十年の歩みとスムーズに進んだ。トップバッターとしてベースを作った景川コメンテーター、熱をおびた意見を展開された解説の岩田氏、

練習に余念がなかった赤石三番バッター、小道具を駆使した柴谷レポーター、手慣れた語りの宮廻論説委員、多彩な内容を軽妙にまとめられた松本会長と高岡キャスターのやりとり、トーンを抑えた語りの小原次年度の抱負と「来たれ！新入会員」メッセージをおくられた阿部直前。とても内容の濃い番組に仕上がった。放映は7月3、12、13、18日の4回。是非たくさんの経営者に当番組を見ていただき、新しい仲間が増えることを期待したい。

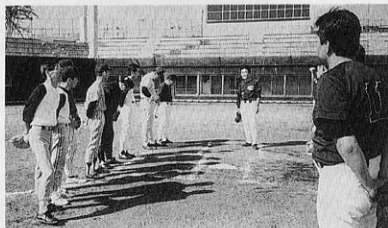
この番組を計画実行された情報メディアのメンバーの方々、一人一人の胸には新たな中央会活動の勳章がくっきりと刻み込まれたことであろう。



第2回現役OB交流野球行われる

現役チーム 7

OBチーム 6



5月25日岸本町グラウンドにおいて、青年中央会野球部とOB会員選抜チームの交流野球試合がおこなわれた。第1回は、引き分けということもあり両チームとも総力をあげての試合となったが、現役チームが1点差でなんとか勝利をものにした。

序盤、石指会員のホームラン等でリードを保っていた現役チームであったが、4回頃より中継ぎで登板した投手の連続四球とタイムリーなどにより、ジリジリと追いつめられたが、終盤に追加点をうばい、からくも逃げきった。

随所で好プレーをみせるOBチームに対し、投手も含めた守備力と、決定力を欠く打線が目立つ現役チームであった。8月の中小企業野球大会までに立て直しを図らないと、悲願の県大会出場は現状では到底無理であろう。青年中央会の看板を背負って出場する野球部会員の一層の奮起を期待したい。

なお、中央会野球部では、部員を募集しております。経験は問いません。野球が大好きな方、汗をかいた後のビールが飲みたい方、入部お待ちしております。（お問い合わせは徳中会員まで）

6月度委員会報告

政治行政委員会

平成9年6月4日(水) 於:皆生 菊水本館 出席者/11名
内容/1. 役員会報告の後、今回卒業されます榎原、松田両氏の送別会を行った。

地域ビジョン委員会

平成9年6月13日(金) 於:米子食品会館 出席者/13名
内容/夢みなど博覧会についての企画、ビデオ編集、高知との連携等の諸問題を議論した後、制作途中のビデオを鑑賞した。

経済委員会

平成9年6月11日(水) 於:ホテル芙蓉 出席者/13名
内容/松本会長、柴谷副会長出席のもと経済委員会の打上げを行った。

経営委員会

平成9年6月14日(土) 於:美保関町七類小浜荘 出席者/13名
内容/声高らかに参加者全員で元気に綱領を唱和した後、赤石副会長より本年度を振り返って加えて、御自分の感想をお話頂いた。

次に門脇委員長より、本年度のまとめ、総括をして頂き、会員全員、そして赤石副会長への感謝のお言葉でしめくり、その後に、上野洋二、牛込敦彦そして赤石副会長3人の卒業生の方に今年、そして中央会についてあいさつをして頂き、卒業記念品の贈呈を行った。乾杯、しばらく会食の後、日中行われたゴルフコンペの表彰を行った。優勝は上野洋二二会員で、文字通り有終の美を飾られた。この日の朝撮ったスタート前とティーショットのビデオを観て盛り上がった。そのビデオには、吹野正和OBと景川副会長より、卒業生へのありがたいお言葉も収録されておりました。

両氏にこの場でお礼を申し上げます。これより祝宴に入り、卒業生中心に大騒ぎしたのは言うまでもない。

情報メディア委員会

平成9年6月10日(火) 於:米子食品会館 出席者/12名
内容/6月29日に行う中海TV録画撮りの打ち合わせ。

「目次氏当日欠席」のハンディーを克服すべく、より綿密な計画を練る。今年度最後の委員会活動であり又総仕上げの録画撮りなので、委員長も一段と力が入っているようです。

指導力開発委員会

平成9年6月20~22日 於:濟州島 出席者/10名
内容/打ち上げ

次期会長、小原氏もオブザーバーとして同行。

2泊3日の小旅行ではあったが1週間でもいたかのような内容のあるものだった。

社会・文化委員会

平成9年6月29日(日) 於:天水 出席者/14名
内容/1. 打ち上げ

2. 阿部・佐久間会員の送別会

総務委員会

平成9年6月9日(月) 於:米子食品会館 出席者/17名
内容/1. 役員会報告

2. 6月担当例会の件

3. 7月総会の件

4. トライアスロンボランティア参加の件

3. 送別会兼打ち合わせの件

広報委員会

平成9年6月13日(金) 於:大山寺とやま旅館 出席者/14名
内容/1. 役員会報告

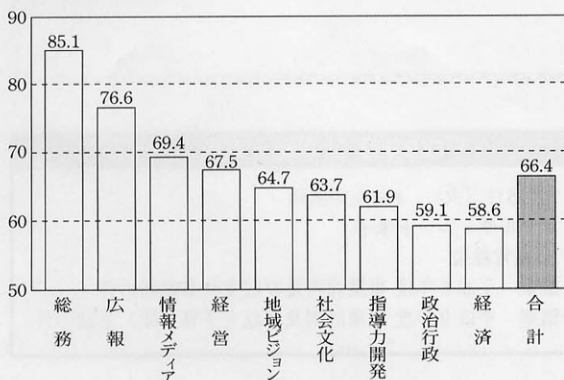
2. 7月ハンサム編集

3. 委員会報告書作成の件

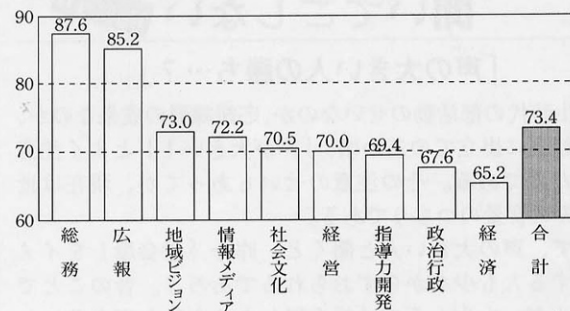
4. 懇親会

出席率ランキング

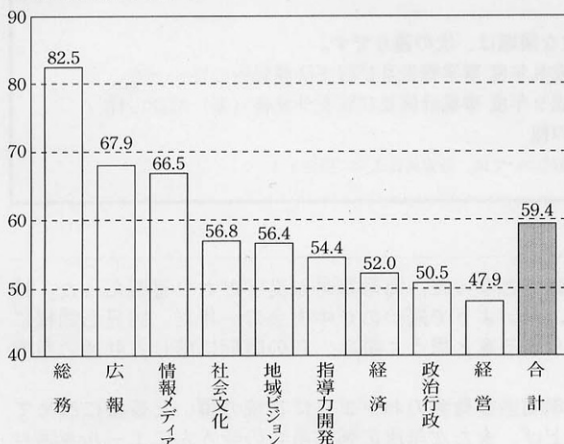
■合計出席率



■委員会出席率



■例会出席率



平成8年度皆勤、精勤賞対象者名簿

皆勤賞

(経営) 武海 章
(広報) 畑中経之、岡本康朋
(情報メディア) 河端謙治、高岡英明
(総務) 安部利夫、大田修一、角田茂樹、水康徳
(指導力開発) 松岡晃
(社会文化) 石指智

精勤賞

(政治行政) 里道義郎、北野実、夏山裕一、野嶋功
(地域ビジョン) 山中隆司、音田猛、釜田公文
(経営) 門脇浩二
(経済) 山内昌之、田川廣美、樋口一夫
(情報メディア) 谷口勉、角田祐司、長谷川郁、由島康平
(総務) 茅野康洋、夏野慎介、浜義徳、平新武志、萬田寿夫
(指導力開発) 松岡正高
(社会文化) 多賀彰穂、浜徳正、阿部信行、浜田一哉

忘年例会商品

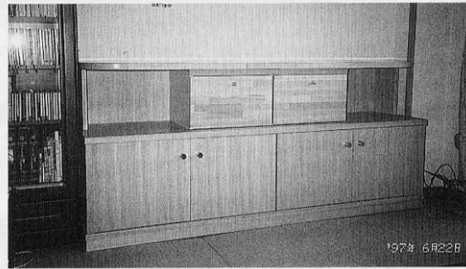
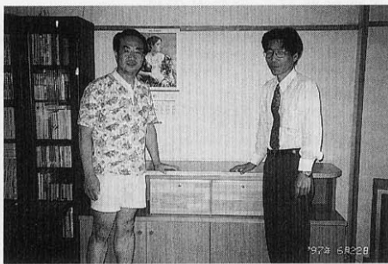
ハンマープライス(ウッディーライフ)

12月忘年例会もすっかり過去の事になった6月22日(日)、ある引渡式が執り行われた。施主商工中金米子支店次長斉藤誠氏、施工音田・近岡・後藤・北野JV。深く静かに進行していたあの事業が遂に完結したのである。

依頼の品は木製CDラックである。近岡会員こだわりの天板角丸仕上げである。また、ちょっとしたモノを置ける棚もある。なかなか重量感のあるラックである。中央会が誇るその道のプロ達が、文字どおり英知を結集して完成させた、世界に唯一のCDラックである。これで12,000円とは…。

「このアールは、ちょっと譲れません。」(近岡談)

「この位のアールならまあ良いけど、何で棚が途中までなの？」(音田談)



「デザインです。」(近岡談)

「これ、完成したら相当な重量になるで。」(音田談)

「大丈夫、広報委員会で搬入します。それより次長が転勤にでもなったら偉いことですけどん、はやこと完成してください。」(取材者談)

こんな打ち合わせが幾度繰り返されたことか。取材者の胸中には長かった道程が走馬灯のように蘇った。ほんの思いつきから始まったこの6ヶ月に及ぶ奮闘も、奥様の

「まあ、すばらしい。素敵なラックですね。」

の一言で全て報われた。長年培われたプロの業と知識を惜しげもなくご提供下さった関係各位に、また、中途からご参加頂き、結局施工から搬入まで頂いたハセコークラフト様に改めてお礼を申し上げて、ウッディーライフの顛末、ひとまず全編の完結とする。

皆さん、本当にありがとうございました。

聞いてごしない Part 10

「声の大きい人の勝ち…？」

学生時代の部活動のせいなのか、応援練習の成果なのか、小生社会に出立の若い頃、「声が大きい！」とよく注意されたのである。その注意のせいもあってか、現在は世間並みの音量のつもりである。

さて、声の大きい人と聞くと、昨今「総会屋」をイメージする人も少なからずおられるであろう。昔のことはあるが、小生もその「総会屋」たる人物と席を共にした事があったことを忘れることが出来ない。

会社の錚々たるメンバーの中に、何故か小生だけが場違いの様にいたのである。

その頃は、話を聞いていても理解できるはずもなく、何の目的で小生がその場に居合せたのか、未だに不思議である。

まさか、大声大会でもやるつもりであったとは考えられないし、武道の有段者である小生をボディガードのつもりで同席させたのか、謎は深まるばかりである。

さて、最近では皆さん御存知の「総会屋」さんのお一人は、ある金融機関から、無担保に近い条件で何十億いや何百億円もの融資を受けておられたそうである。その内のかんりの額がコゲついて、返済不能とのことであるが、あれって返さなくていいのかナ—？

最近、中小企業の私達には融資条件がキビシイ銀行さんではあるが、こんど小生「大きな声が出ますが、お金貸してもらえませんか—」とたのんでみるか。

イカルの星

平成9年度 通常総会案内

と き 7月15日(火) PM 6:30開始

ところ ホテルサンルート米子

平成9年度 通常総会

第1号議案 平成8年度 事業報告及び収支決算承認の件

第2号議案 平成9年度 事業計画及び収支予算(案)承認の件

7月役員会報告

7月新旧役員会が7月1日(火)、境港ビアガッセに於いて開催された。

当日の主な議題は、次の通りです。

(1) 平成8年度 事業報告及び収支決算報告の件

(2) 平成9年度 事業計画及び収支予算(案)承認の件

(3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

編集後記

遂に最終号となった。毎号毎号が文字どおり奮闘だった。振り返れば、永いようで短いのが中央会の一年だ。諸兄も同様に感じておられる事と思う。毎年、この時期に感じる共通の感慨であろう。

この一年間当委員会のわがままにご協力頂いた皆様に改めて感謝申し上げ、また次年度広報委員会の皆さんにエールを送りながら、脱稿とする。 完。